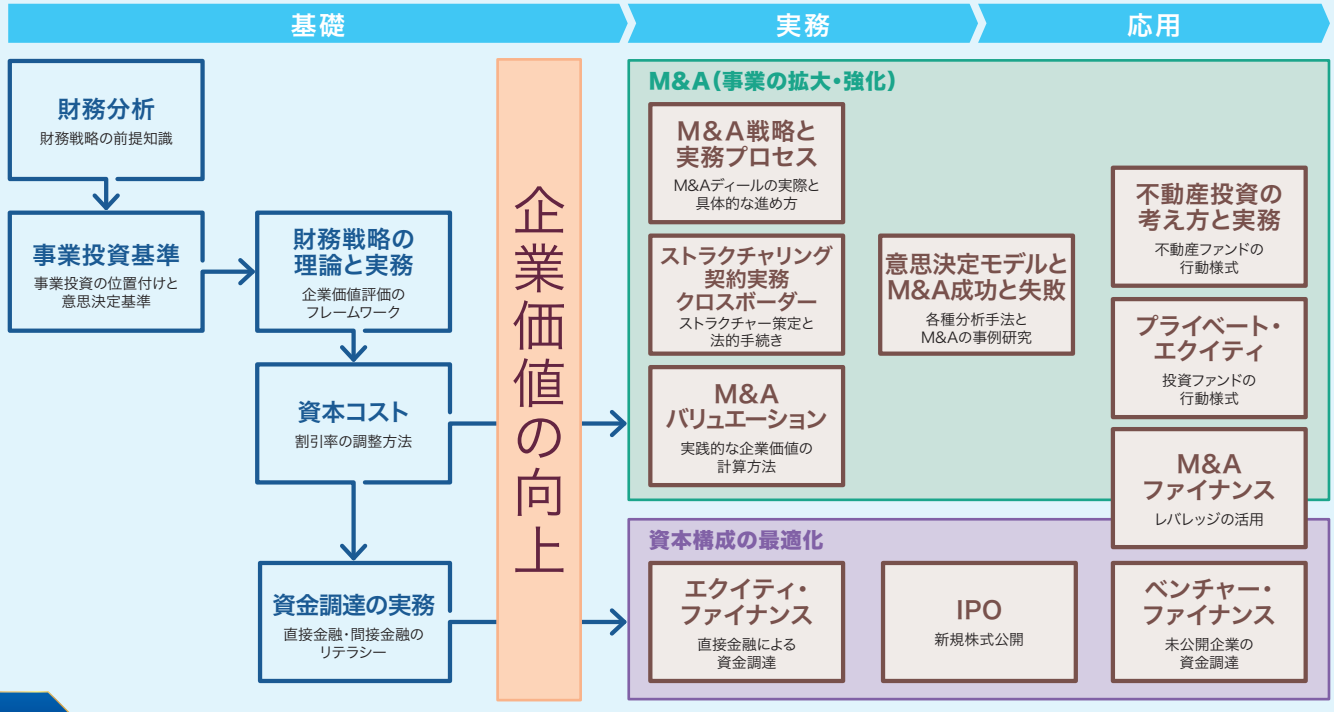
M&Aと資金調達の実務を学ぶ

2024年 夏季日程

インベストメント・バンキング講座

WASEDA University Institute for Business and Finance



HYBRID 形式

オンライン or 対面

Zoomでのオンライン受講または、従来からの対面受講で選べるハイブリッド形式で実施します。

WASEDA University Institute for Business and Finance

M&Aと資金調達の実務を学ぶ

インベストメント・バンキング講座

2024年 夏季日程

早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センター　共催：日経メディアマーケティング株式会社

インベストメント・バンキング講座とは

企業価値を向上させるための投資行動と財務手段である企業金融に関する実務。具体的には事業投資やM&A、株式・債券発行による資金調達等について幅広い範囲に亘って基礎から応用まで網羅的に学ぶことができる講座です。
これらはどれも専門性高く学問的にも高度であるため、とっつきにくい分野ではありますが、長年の経験に裏打ちされたインベストメント・バンカーが自身の体験談を交えながら、わかりやすく説明しますので、キャリア浅めの方であっても、実務に即した深い理解を得られるのが特徴です。

※ このご案内は2024年2月1日時点での予定です。日程、講師・内容等は都合により変更させていただくことがございます。
※ 各講義内容の詳細については、Webサイトより、講義サマリーをダウンロードの上、ご確認ください。

基礎

財務分析 — オリジナル・ケーススタディ

財務戦略の前提知識となる財務諸表・財務指標分析など、財務会計の基礎を学習します。

5/16(木) 1日集中 | 10:00〜13:00, 14:00〜17:00 | 受講料 48,000円(税込)

決算書（財務三表）の理解：貸借対照表・損益計算書・キャッシュフロー計算書の意味とつながりをザックリ理解し、会社の特徴を把握する 120分
演習問題：損益計算書をマトリクス構造に分解／貸借対照表の右側と左側／キャッシュフロー計算書とBS、PLを図にして企業の状態を俯瞰する...60分
財務分析の手法：収益性・安定性・成長性を、時系列・同業他社比較で分析し、数値面から会社の課題と改善策を考える..... 120分
ケーススタディ、収益改善の方法論：財務分析作図演習／デュポン・アナリシス／ROICツリー／補足講義（中期業績計画のモデリング） 60分
内倉

事業投資基準

企業価値評価を向上させる手段としての事業投資の位置付けを明確に把握します。

5/23(木) 半日 | 13:00〜17:00 | 受講料 32,000円(税込)

投資基準の変遷／ROI／キャッシュフローと時間価値／NPVとIRR／ケーススタディ（複数プロジェクトからの選択）／リスクに応じたハードルレート設定 ...160分
プライベートエクイティ（P/E）ファンドの投資基準（IRRとMOM）／LBO・MBOのスキーム／価値創造の3つのドライバー／ケーススタディ、
経済的付加価値（EVA）／EVAを改善する4つのドライバー／インセンティブ・プランへの応用.....80分
内倉

財務戦略の理論と実務 — オリジナル・ケーススタディ

財務戦略に関する理論的な知識武装を目的とし、基本的な企業価値評価のフレームワークを学びます。

5/30(木) 1日集中 | 10:00〜13:00, 14:00〜17:00 | 受講料 48,000円(税込)

ファイナンス戦略の理論：企業価値と株主価値／資本資産価格モデル(CAPM)／MM理論／加重平均資本コスト(WACC)／ベータ／最適資本構成／演習...120分
DCFモデル：フリー・キャッシュフローと永続価値（ターミナルバリュー）／DCF企業価値算定の構築手順と留意点／演習.....60分
企業評価（バリュエーション）の基礎：収益還元方式／マルチプル（倍数）法（類似会社比較方式、類似案件比較方式）／シナジー効果.....150分
ケーススタディ：企業価値・株主価値の算定／買収価格の算定 30分
植木

資金調達の実務 — オリジナル・ケーススタディ

代表的な金融プロダクトである債券、株、CBが、どのように発行されているのか、商品ごとの特徴やポイントも踏まえて理解します。

6/5(水) 1日集中 | 10:00〜13:00, 14:00〜17:00 | 受講料 48,000円(税込)

デットファイナンスの基礎：銀行借入と社債発行の違い／ALMによるリスク管理／社債の種類と発行までのスケジュール／社債のプライシング....60分
債券格付け：格付け評価のポイント／評価に使われる主要財務指標／金利スプレッドとの関係／デフォルトの相関／実例を用いた練習問題...120分
三浦
エクイティ・ファイナンスの基礎：目的・留意点と投資銀行の役割／公募増資／転換社債／資金調達の選択肢及びそれぞれのメリット、デメリット...150分
IR（インベスターリレーション）：適正なプライシング（企業価値評価）を獲得するために／機関投資家の類型と特徴／投資家は何を知りたいのか...30分
早川

資本コスト — オリジナル・ケーススタディ

注目を集める資本コストについて、理論の本質を理解し、それに伴い実務への応用力を高めます。

6/17(月) 半日 | 13:00〜17:00 | 受講料 32,000円(税込)

資本コストとは何か／8%基準の根拠／マーケットリスクプレミアムの推定／ヒストリカル法／インプライド法／ハードルレートとCAPM、ケーススタディ、他..... 100分
個別銘柄&業種ヒストリカルベータ／ベータ推定モデル／Barraモデル考察／サイズプレミアム／海外企業の資本コストとカントリープレミアム、他.... 140分
外尾
※ツールおよびデータベンダーの方のご受講はご遠慮ください。

財務系実務

エクイティ・ファイナンス — オリジナル・ケーススタディ

価格決定にまで至る詳細が学べるのは本講座だけ。引受主幹事の思考ノウハウが身につきます。

6/12(水) 半日 | 10:00〜13:00 | 受講料 27,000円(税込)

国内発行と海外発行／オファリング・ストラクチャーの選択肢／投資家層／デューディリジェンス／引受審査／オーバーアロットメント.....90分
IR活動の重要性／販売活動とリサーチアナリスト／ディスカウント・レンジ／ブックビルディング、プライシング、配分／ケーススタディ.....90分
早川
（午後のIPOご受講の方は、合わせて48,000円）

新規株式公開【IPO】 — オリジナル・ケーススタディ

体験談と完成度の高いケーススタディで、IPOのプロセスが実感を伴って理解できます。

6/12(水) 半日 | 14:00〜17:00 | 受講料 27,000円(税込)

IPOの概要／オファリング・ストラクチャー／仮条件／エクイティ・ストーリーの構築／ロードショー実施／ブックビルディング／公開価格決定 135分
類似会社バリュエーション比較／プレ・マーケティング／価格レンジ／公開価格決定と投資家への配分／アフターマーケット分析／ケーススタディ...45分
早川
（午前のエクイティ・ファイナンスご受講の方は、合わせて48,000円）

ベンチャーファイナンス — オリジナル・ケーススタディ

ベンチャー企業の資金調達方法について、実例を用いて具体的に学びます。

6/26(水) 半日 | 13:00〜17:00 | 受講料 32,000円(税込)

ベンチャーファイナンスの基礎：ベンチャーファイナンスとコーポレートファイナンスの違い／ベンチャー企業特有の企業価値算定方法.....150分
資金調達プロセスの実際：プレーヤーの種類／企業発展段階とラウンド戦略／投資家の関心／株式の種類／希薄化の考え方／EXIT戦略.....90分
小泉

M&A系実務

M&A 戦略の構築と実務プロセス

ディールのキックオフからクロージングまでの流れを追いながら、現場で直面する様々な問題を取り上げます。

5/29(水) 半日 | 13:00〜17:00 | 受講料 32,000円(税込) ※投資銀行の方のご受講はご遠慮ください。

M&A戦略立案のポイント／実行体制の整備／ターゲットの選定とアプローチ／M&A担当者に求められる能力／投資銀行の役割と活用方法 120分
M&Aディールの流れ／プロセスにおける注意点／入札価格とフェアな価格の考え方／のれん問題／デューディリジェンスの実施／M&A交渉戦術 ...120分
宮川

M&A ストラクチャリングと契約実務 — クロスボーダーM&Aを含めて

国内、クロスボーダー案件のストラクチャリング、各種契約書のストラクチャーや考え方を学びます。

6/4(火) 半日 | 13:00〜17:00 | 受講料 32,000円(税込) ※投資銀行の方のご受講はご遠慮ください。

ストラクチャリングの実践と形態（ケーススタディ）／最近の動向／米国企業買収の基本的ストラクチャー／クロスボーダー取引の注意点.....120分
M&A契約書の種類と基本構成／投資銀行とのアドバイザリー契約書のポイント／株式売買契約書のストラクチャーと考え方 120分
宮川

M&A 企業評価（バリュエーション）の実務 — オリジナル・ケーススタディ

感応度分析など、より実践的な手法を1つ1つ丁寧に紹介。DCFについてはエクセルによるデモを交えてわかりやすく解説します。

6/11(火) 半日 | 13:00〜17:00 | 受講料 32,000円(税込) ※投資銀行の方のご受講はご遠慮ください。

ターミナルバリュー／非上場企業のWACC／類似企業比較と類似取引比較分析／Floating Bar Chart／Football Chart／AVP、他.....120分
シナジー分析／APV／EPS感応度分析／プロフォーマ財務分析／非上場企業の修正利益／入札価格の考え方／買収価格の妥当性、他 120分
宮川

M&A Go or Not Goの意思決定モデル — オリジナル・ケーススタディ

成功に必要な条件、過去の失敗事例における原因の所在、成功事例の裏側についての基本理解が得られます。

6/13(木) 半日 | 13:00〜17:00 | 受講料 32,000円(税込)

倍率法の原理（利益成長率∝利益倍率）／資金調達手法と買収価格によるEPS変動分析／ブレイクイーブンPER／EPS変動分析の効用 120分
LBOにおける意思決定モデル／成功例と失敗例および分析／ケーススタディ（計算演習） 120分
服部

M&A ファイナンス — オリジナル・ケーススタディ

拡がりをみせるM&Aの資金調達方法について、数々の選択肢におけるメリット、デメリットを豊富な資料を元に把握していきます。

6/20(木) 半日 | 13:00〜17:00 | 受講料 32,000円(税込)

M&Aのための資金調達と選択肢／ブリッジローン／レバレッジドローン、ハイイールド債、第二順位担保権付ローン、コベナント・ライト型ローン....90分
レバレッジド・ファイナンスの実務／ストラクチャリング／ケーススタディ（LBO／MBO／ファンドが経営参画／経営陣のみが議決権を取得） 150分
小泉

不動産投資の考え方と実務 — オリジナル・ケーススタディ

不動産投資ファンドがどのような投資活動を行っているのか、その投資対象や投資基準、キャッシュフロー分析の手順等を学習します。

6/25(火) 半日 | 13:00〜17:00 | 受講料 32,000円(税込)

不動産ファンドの投資スタイル／不動産サイクル〜不動産マーケットの循環／プライベート・エクイティ不動産投資、他.....60分
投資対象物件と対象地域／適正価格（プライシング）／Mark-to-MarketとNOI／キャップレート計算演習／キャッシュフロー分析／
センシティビティ分析／J-REIT、他 180分
黒田

M&A プライベート・エクイティ — オリジナル・ケーススタディ

増加の一途をたどるプライベート・エクイティ（投資ファンド）絡みのM&A。その実像と行動様式について学びます。

~~13:30〜16:30~~ 休講 | 半日 | 受講料 27,000円(税込)

プライベート・エクイティ投資とは／主なサブ戦略とリターンの源泉／ベンチャーキャピタル投資／グロースキャピタル投資／ディストレス投資、他...90分
投資活動の流れ／投資案件の発掘とデューディリジェンス／資金調達のアレンジ／投資決定と投資先企業のバリューアップ、他 90分

「Zoom」によるオンライン受講、または本校26号館（大隈記念タワー）での対面形式のいずれかを選択していただきます。

講師プロフィール

豊富な経験をもつトップクラスの実務家が講義を担当します

内倉　栄三： 元 ゴールドマン・サックス証券株式会社　投資調査部門／投資銀行部門
植木　務： 元 J.P.モルガン証券株式会社　投資銀行本部　金融法人部共同責任者
外尾　光法： 元 大和アセットマネジメント　クオンツ運用部長
三浦　毅司： 元 クレディ・スイス証券株式会社　株式調査本部　株式調査部　ヴァイス・プレジデント
早川　亮： 元 ドイツ証券株式会社　株式資本市場部　ディレクター
小泉　泰郎： 株式会社FiNC Technologies 代表取締役 CEO & CFO、元 ゴールドマン・サックス証券株式会社 投資銀行部門 資本市場本部共同本部長 兼 マネージング・ディレクター
宮川　圭治： リンカーン・インターナショナル シニア・アドバイザー（元 ドイツ証券株式会社 副会長 M&A部門責任者）
服部　暢達： 早稲田大学大学院経営管理研究科　客員教授
黒田　利也： 元 オークツリージャパン合同会社　日本代表　マネージング・ディレクター

財務分析

オリジナルケーススタディ

財務理論を学ぶにあたって、その前提となる財務諸表・財務指標分析の基礎知識を学習します。簿記や仕訳など通常の会計の教科書とは異なり、作図による全体感の把握という手法により、企業評価の３要素（収益性・安定性・成長性）の分析技法をわかりやすく解説します。単なる数値分析ではなく、数字の裏にある企業戦略とのつながりを推測する眼を養います。経営視点から、財務会計の本質を短時間で学びたい方、復習したい方にお薦めします。

5/16（木）
前半：10:00～13:00、後半：14:00～17:00（6時間）

講師　内倉 栄三
元 ゴールドマン・サックス証券株式会社　投資調査部門／投資銀行部門

受講料　48,000円（税込）

Session 1＆2 決算書（財務三表）の理解

180分

1. 財務三表の意味：企業の４つの活動（資金調達、投資、営業、資金分配）を適正に数値化
2. PL・BSを縮尺図にして企業の状態を俯瞰する：全体感の把握 ── 何に注目するか？
3. 損益計算書：５つの利益から会社の特徴を把握し、PLをマトリクス構造に分解
4. 設備投資と減価償却費の考え方とEBITDAの意義
5. 貸借対照表：大きさや大項目の構成から健全性を把握 ── 左右を比較するポイント
6. PLとBSの関係：BSは「瞬間のストック」、PLは「期間のフロー」を表す
7. キャッシュフロー計算書：パターンで会社の状況が読める ── 当年度PL・CF ⇒ 期末BSへのリンク
8. 利益操作の疑いのある不適切な会計：どこに注目するか
9. 財務三表の読み方：PL・BSを縮尺図にして企業の状態を俯瞰する
10. 演習問題：同業２社の決算書から企業戦略を推測、決算書の特徴から業種・企業を推測

Session 3＆4 財務分析の手法

180分

1. 財務分析のポイント：「全体感の把握」から「数値分析」へ
2. 収益性分析：売上に対する利益率、資産に対する利益率 ── 一番大事なことは？
3. ROA、ROIC、ROE の違いとそれぞれの本質的意義 ── 一体誰のための指標か？
4. 回転率：どれだけ投資して、どのくらい売っているか
5. 売上に対する利益・費用比率
6. 安定性分析：短期・長期の適合率、負債と資本の割合、債務返済能力
7. 損益分岐点（BEP）分析：売上がいくら（何％）になっても、赤字にならずにすむのは？
8. 成長性分析：売上の成長、マージンの改善 ── まずは定量的な姿を確認する
9. 収益改善の方法論：デュポン・アナリシス
10. ROICツリー：他社比較と時系列比較
11. ケーススタディ：財務分析による経営状況の診断
    - 時系列比較・同業他社比較 ── 過去を振り返り、各社の中期的な方向性を推察
    - 利益変動要因とセグメント利益 ── 戦略メカニズム＝有機的つながりのメカニズム

補足講義 中期業績計画のモデリング

1. 中期業績の予想数値作成の手順（PL ⇒ CF ⇒ BSへのリンク）
2. 業績予想のモデリング
3. 定量的な姿の把握と投資計画の把握
4. 事業計画モデルの作成ポイント：PL（売上・費用）予想、CF予想、BS（右側・左側）予想
5. 事業計画の作成：前提条件とアウトプット
6. 結果の妥当性確認：「なりたい姿」との比較 ── 業績予想とは、ストーリーを数値化する作業のこと

事業投資基準

事業投資の成否は業績への影響が最も大きく長期間にわたります。よって、事業投資の意思決定は企業にとって最重要課題といえるでしょう。企業価値評価を向上させる手段としての事業投資の位置付けを明確に把握し、NPV・IRR・EVAなど、様々な事業投資基準のメリット・デメリットについて学びます。近年M&A市場の主要プレイヤーとなったプライベート・エクイティの投資判断の行動様式についてもふれます。

5/23（木）
13:00～17:00（4時間）

講師　内倉 栄三
元 ゴールドマン・サックス証券株式会社　投資調査部門／投資銀行部門

受講料　32,000円（税込）

Session 1 投資評価の手法

60分

1. 事業会社の活動と事業投資 ── 最も重要な意思決定である理由
2. 投資決定基準 ── それぞれの個別属性に応じた決め方
    - 売上・市場シェア、利益額・売上高利益率
    - ROI（投下資本収益率）、CFROI（キャッシュベースの投下資本収益率）
3. ROIのメリットとデメリット

Session 2 IRRとNPV

100分

1. キャッシュフローと時間価値の重要性
2. 正味現在価値（NPV）
    - NPVによる投資の意思決定方法
3. 内部収益率（IRR）
    - 計算方法
    - ハードルレート
4. NPV・IRRのメリット・デメリット
5. 日米企業の投資基準の相違
6. ケーススタディ ── プロジェクト別の投資の意思決定

Session 3 投資ファンドの投資基準

60分

1. プライベートエクイティ（P/E）ファンドの投資基準（IRRとMOM）
2. LBO・MBOのスキーム
3. 価値創造の３つのドライバー
4. ケーススタディ ── 投資ファンドのリターン推定

Session 4 EVAの活用

20分

1. EVAのメリットと計算式の本質
2. EVAの優位性、EVAを改善する４つのドライバー
3. インセンティブ・プランへの応用、批判と実際の適用における検討課題

財務戦略の理論と実務

オリジナル ケーススタディ

必要不可欠なファイナンス・ツールであるWACC（加重平均資本コスト）、DCF（ディスカウント・キャッシュフロー）モデル、企業価値評価（バリュエーション）手法について、練習問題を取り入れながら平易に解説します。本テーマは、実務講座群のエクイティ・ファイナンス、IPO、M&Aの各テーマ受講の前提になる基礎理論を1日集中で習得することを目的とします。

5/30（木）

前半：10:00〜13:00、後半：14:00〜17:00（6時間）

講師　植木 務

元 J.P. モルガン証券株式会社　投資銀行本部　金融法人部共同責任者

受講料　48,000円（税込）

Session 1　ファイナンス戦略の理論

120分

1. 企業価値と現在価値
- 企業価値とは
- キャッシュフローの現在価値
- 現在価値と割引率の関係

2. 資本資産価格モデル（CAPM）
- ポートフォリオの最適化と効率的フロンティア
- 効率的フロンティアとリスクフリー資産
- 資本資産価格モデル（CAPM）

3. 資本政策と資本コスト
- MM理論（第一命題、第二命題）
- 株主資本コストと負債コスト
- WACC（加重平均資本コスト）
- βについて（レバード・アンレバード等）
- 最適資本構成についての考察
- 演習問題

Session 2　DCFモデルの概略

60分

- フリー・キャッシュフローとは
- DCFモデルの特徴
- DCFモデル構築手順
- 演習問題

Session 3　企業価値評価（バリュエーション）の概略

150分

- 収益還元方式（DCF法）
- マルチプル（倍数）法：類似会社比較方式、類似案件比較方式
- シナジー効果、コントロールプレミアム、非流動性ディスカウント

Session 4　ケーススタディ

30分

- 企業価値・株主価値の算定
- 買収価格の算定

資金調達の実務

オリジナル ケーススタディ

代表的な金融プロダクトである債券、株、CBが、どのような背景で発行されているのか特徴やポイントを踏まえて概説します。市場とのコミュニケーション（IR）や、債券格付けについても触れます。本テーマは、実務講座群のエクイティ・ファイナンス、IPO、M&Aファイナンス、ベンチャーファイナンス受講の前提になる基礎知識を1日集中で習得することを目的とします。

6/5（水）

前半：10:00〜13:00、後半：14:00〜17:00（6時間）

講師　三浦 毅司

元 クレディ・スイス証券株式会社　株式調査本部　株式調査部 ヴァイス・プレジデント

講師　早川 亮

元 ドイツ証券株式会社　株式資本市場部　ディレクター

受講料　48,000円（税込）

Session 1　デットファイナンスの基礎

60分

1. 銀行借入と社債発行および増資、それぞれの特徴とメリット、デメリット ── ケースによってどれを選択すべきか？
2. ALM（Asset Liability Management）
3. 社債の種類と発行手続き ── プライシングの仕組み
4. 社債のプライシングの実務

Session 2　債券格付け

120分

1. 社債格付けの仕組みと考え方 ── インデックスとの関係
2. 格付けと金利スプレッドの実際 ── 震災後の東京電力債を例に考察
3. デフォルトとの相関 ── 債務不履行＝倒産ではない
4. 格付け評価に使われる主要財務指標と評価ポイント ── 経営戦略や財務戦略も意識する
5. 格付けを上げるためのファイナンステクニック
6. 実際の決算短信を用いた格付け推定演習 ── A格にするために必要な有利子負債削減額は？

Session 3　エクイティ・ファイナンスの基礎

150分

1. エクイティ・ファイナンスの目的・留意点
2. 投資銀行の役割 ── 機能別役割とコンフリクト
3. 主要エクイティプロダクト
4. 資金調達選択肢の特徴 ── それぞれのメリット、デメリット
5. 公募増資のストラクチャー
6. 転換社債（CB）、私募型（MSCB）、他社株交換型（EB）
7. IR活動とリサーチカバレッジの重要性
8. 公募増資による株価へのインパクトについて
9. CBのプライシングメカニズム ── 債券価値とコールオプション価値
10. 発行条件に影響を与える要素

Session 4　IR（インベスター・リレーション）

30分

1. IR ── 適正なプライシング（企業価値評価）を獲得するために
2. 機関投資家の類型と特徴 ── 機関投資家の資金フロー
3. ヘッジファンド
4. 投資家は何を知りたいのか ── よくきかれるポイント
5. IRミーティング、ロードショーの実際 ── ロードショー・プレゼンテーション

資本コスト

オリジナル ケーススタディ

注目を集める一方で、とっつきにくいともいわれる資本コストについて、理論を深く理解し、それに伴い実務への応用力を高めることを目的とします。一般的なヒストリカル法に加え、インプライド法でのリスクプレミアム、各種個別ベータや業種ベータの使い方から、さらにサイズプレミアム、カントリープレミアムを使ったより高度な推定方法までの一通りを、ロジックとデータを用い、実証を踏まえながら詳しく説明していきます。計算ツールは専用HP※より取得、復習にお使いいただけます。

※https://costofcapital.jp/

6/17（月）
13:00～17:00（4時間）

講師　外尾 光法
元大和アセットマネジメント　クオンツ運用部長

受講料　32,000円（税込）

※本テーマは、ツールおよびデータベンダーの方のお申込みはご遠慮ください。

Session 1　資本コストとは何か

40分

1. コーポレートガバナンスコード
   - スチュワードシップコードとの関係
   - 投資家と経営者それぞれの見方
2. PBRとROEの関係からの示唆
   - ROE 8%基準を市場はどのように見ているか
   - ヒストリカルとクロスセクションでの比較
   - グローバルでの比較
3. リスクと資本コスト
   - 損失確率と標準偏差
   - 投資家のリスク回避と市場センチメント
4. DCFモデル
   - リスクの対価としての要求リターン
   - 企業価値評価の推定誤差要因

Session 2　マーケットリスクプレミアムの推定とCAPM

60分

1. マーケットリスクプレミアムは誰が決めるのか
2. ヒストリカル法
   - 株式市場の実績リターン考察
   - 長期的な視野と直近の状況
   - グローバルでの比較
3. インプライド法
   - 市場のコンセンサスから逆算したリスクプレミアム
   - イーストンモデルによる市場と業種別のプレミアム
   - インプライド法の種類と特徴
4. CAPMが成り立つ世界で企業価値評価をすると何が起こるのだろうか
5. 前提条件と現実の差に起因する注意点
6. ハードルレートとCAPM
   - 上場企業と非上場企業は異なるのか？
7. ケーススタディ

Session 3　ベータを推定する

60分

1. 銘柄ヒストリカルベータ
   - 不安定な指標
   - いくつかの改良
   - 情報ベンダーが提供するベータ
2. 業種ヒストリカルベータ
   - 業種の特性を示したベータ
3. ファンダメンタルベータ
   - ファンダメンタルベータとは何か
   - ベータを決める要因 —— 業種と財務指標
   - Barraモデルと株主資本コスト推定に適したベータ推定モデル考察
4. ベータでは捉えられないプレミアム
   - サイズプレミアム／カントリープレミアム
5. ケーススタディ

Session 4　サイズプレミアム検討

30分

1. サイズプレミアムの存在を検証する
2. Fama – Frenchモデル
3. ボラティリティはサイズプレミアムの代替となるか
4. インプライド法による推定
5. 未上場企業の資本コスト
6. ケーススタディ

Session 5　発展的な話題 —— 海外企業の資本コストとカントリープレミアム

50分

1. 海外企業の資本コスト
   - 海外企業の評価と通貨の関係
   - キャッシュフロー通貨の変換
   - スポットレート法とフォワードレート法
   - 先進国の場合
   - 新興国の場合
   - 留意点
2. 先進国の資本コスト推定
   - ローカルCAPM
   - サイズプレミアムの考え方
3. 新興国の資本コスト推定
   - リスクプレミアム修正
   - 信用スプレッドによる補正
4. データの取得と一貫性
   - 信頼性の高いベンダーの利用

M&A 戦略の構築と実務プロセス

事業会社のM&A担当者などを対象に、担当者として知っておかなければならないM&A業務の基本について解説します。M&Aディールのキックオフからクロージングまで、買い手（あるいは売り手）であることを想定して一般的な流れを追いながら、実際にM&A担当者として直面する様々な問題について取り上げます。社内体制整備や投資銀行の活用方法など、実践的な課題にも言及します。時折、参加者自らの考えについても発言していただきながら、インタラクティブに議論を深めていきます。

5/29（水）
13:00～17:00（4時間）

講師　宮川 圭治
リンカーン・インターナショナル　シニア・アドバイザー
（元 ドイツ証券　副会長　M&A部門責任者）

受講料　32,000円（税込）

※本テーマは、投資銀行の方のお申込はご遠慮ください。

Session 1　M&A担当者としての役割

120分

1. M&A市場の特徴
2. M&A戦略の構築
   - M&Aの具体的な目的と形態
   - 戦略立案のポイント —— シナジーは必要か？
3. 実行体制の整備
   - M&A担当者に求められる能力
   - —— 期待される7つのスキル
   - 案件の発掘 —— ターゲットの選定とアプローチ
   - プライベート・エクイティへのアプローチ
4. 投資銀行の活用方法
   - 契約における注意点と手数料
   - —— 国内中小市場／グローバル市場

Session 2　M&Aディールの実務

120分

1. M&Aディールの流れ及び進め方
   - M&Aのプロセス（入札のケース）
   - —— キックオフからクロージングまで
   - プロセス・レター（Bid Instruction Letter）
   - 買収ストラクチャーの基本形
   - M&Aプロセスにおける注意点
   - 入札価格とフェアな価格の考え方 —— 売手にとっての公正価格？ 買手にとっての公正価格？
   - 買収マルチプルだいたいの目安と今の世界トレンド
   - 「のれん」問題
   - 表明保証保険(RWI)の活用
   - フェアネス・オピニオン
   - 具体的なM&Aスケジュール
2. デューディリジェンス（買収監査）の実施
   - ビジネス・デューディリジェンス
   - 法務デューディリジェンス
   - 会計デューディリジェンス
   - その他の専門デューディリジェンス
3. 価格交渉の仕方と注意点
   - 交渉戦術の基本とM&A交渉でよくみられる問題
   - 価格交渉の難しさ —— 買い手として、どういった交渉をすべきか

M&A 企業評価（バリュエーション）の実務

オリジナル ケーススタディ

DCFや類似企業分析等の標準的企業分析方法と活用の仕方については「財務戦略の理論と実務」で触れますが、本講義では、それからさらに一歩踏み込んだ分析方法について、それぞれの特徴や留意点を紹介します。さらにケースを用い、実際にエクセルでDCF分析を試みる他、限定的な情報を基にした簡易的な企業評価等々、実践に役立つ手法を紹介します。デモに使用したエクセルファイルはお持ち帰りいただけます。

6/11（火）　13:00～17:00（4時間）

講師　宮川 圭治
リンカーン・インターナショナル　シニア・アドバイザー
（元 ドイツ証券　副会長　M&A部門責任者）

受講料　32,000円（税込）

※本テーマは、投資銀行の方のお申込はご遠慮ください。

Session 1　M&Aバリュエーションの概要

120分

1. M&Aにおける財務分析のフレームワーク
2. バリュエーション分析
   - 非上場企業のWACC
3. 類似企業比較分析と類似取引比較分析
4. Floating Bar Chart / Football Chart
5. ANALYSIS AT VARIOUS PRICES

Session 2　M&Aバリュエーションの応用

120分

1. DCFモデルによる企業価値評価
2. マルチプルを利用した企業価値の推計
3. シナジー分析
4. WACCと投資のハードルレート
5. Adjusted Present Value
6. EPS（一株純利益）感応度分析
7. プロフォーマ（予想）財務分析
8. 企業評価算定の実際と買収価格の妥当性
9. 非上場企業の修正利益
10. 入札価格の考え方
11. 米国中小M&A市場における買収マルチプル
12. フェア（公正）な価格とは何か？

M&A ストラクチャリングと契約実務
—— クロスボーダーM&Aを含めて

事業会社のM&A担当者などを対象に、M&Aのストラクチャリングについて、国内案件・クロスボーダー案件を含めその基本と担当者としての留意点を解説します。また、M&A担当者として不可欠な、各種の契約実務を学びます。秘密保持契約書、投資銀行とのアドバイザリー契約書、株式売買契約書などについて、そのストラクチャーや考え方のポイントを解説します。

6/4(火)　13:00～17:00（4時間）

講師　**宮川 圭治**
リンカーン・インターナショナル　シニア・アドバイザー
（元 ドイツ証券　副会長　M&A部門責任者）

受講料　32,000円(税込)

※本テーマは、投資銀行の方のお申込はご遠慮ください。

Session 1　ストラクチャリング
120分

1. ストラクチャリングの実践
- ストラクチャーに関する法制度
- ストラクチャリングの基本事項

2. ストラクチャリングの形態
- 現金取引：相対売買、株式公開買付け、第三者割当増資 —— 第三者割当増資の規制強化
- 会社法における少数株主権
- 組織再編行為：合併、会社分割、株式交換、株式移転
- 事業譲渡
- スクイーズアウト
- 公開買付の想定スケジュール
- その他のM&Aストラクチャー —— 敵対的買収の注意点
- ケーススタディ —— 前オーナーとのジョイントベンチャーの是非

3. ストラクチャリングをめぐる最近の動向
- ファンドによる買収ストラクチャー（LBO）
- 資金調達を考えたストラクチャー
- 所有権と経済的利益を分離したストラクチャー

4. クロスボーダー M&A
- 国境を越えた企業の統合ストラクチャー
- ケーススタディ —— 石油鉱区権益の買収
- 米国企業の買収ストラクチャー
- 海外地域別持株会社の設立

Session 2　M&A担当者にとっての契約実務
120分

1. M&A契約書の種類とその基本的構成
- 秘密保持契約書（NDA、CA）のポイント —— 受領者定義、秘密情報の範囲、準拠法、廃棄義務、他
- 基本合意書（Letter of Intent）
- 株式売買契約書（本契約）の骨子
- 共同買収合意書（JV）
- 株主間協定（SA）

2. 株式売買契約書のストラクチャー及び交渉ポイント
- 合意事項
- 表明・保証（Representations and Warranties）
- 約定条件（Covenants）
- 停止条件（Condition to closing）
- 補償（Indemnification）
- 売買契約書の諸条件（米国事例から）—— 補償上限額、エスクロー金額、バスケット金額、補償期間
- 運転資金調整（Working Capital Adjustment【WC True-ups】）

3. 投資銀行とのアドバイザリー契約書のポイント
- リテイナー報酬 —— リーマン方式は一般的？
- 成功報酬 —— 買手と売手での違い

M&A Go or Not Goの意思決定モデル
オリジナルケーススタディ

世界のM&Aの現場において、経営者と資本市場双方が重視するEPS変動分析と、買収ファンドが買手の場合に使われるLBO収益モデルによる分析方法をケーススタディも交えて具体的に学びます。最終セッションでは、過去のM&A案件から、とりわけ失敗とされるケースを取り上げ、その要因把握を成功のための教訓として総括します。

6/13(木)　13:00～17:00（4時間）

講師　**服部 暢達**
早稲田大学大学院　経営管理研究科　客員教授

受講料　32,000円(税込)

Session 1　倍率法の原理とEPS変動分析
120分

1. 倍率法の原理（利益成長性∝利益倍率）
2. 純利益成長率とPER
3. 資金調達手段と買収価格によるEPS変動分析
4. EPS変動のブレイクイーブンPER
5. 買収価格PERと買手のEPS変動
6. 買手予想PER・純利益と買手買収前後EPS変動
7. EPS変動計算事例
8. EPS変動分析の効用
9. 演習問題

Session 2　LBOにおける意思決定モデル
60分

1. LBO実行の仕組み
2. PER一定モデル／EBIT倍率一定モデルによる検討
3. ケーススタディ

Session 3　M&Aの成功例、失敗例とその分析
60分

1. M&Aの現象と結果
2. M&Aと株主価値の創造
3. 日本企業の失敗例／外国企業の失敗例
4. 日本企業の成功例
5. 日本企業によるM&A成功の為の必要条件

M&A プライベート・エクイティ
オリジナルケーススタディ

M&A市場の主要プレイヤーとなったプライベート・エクイティの実像と行動様式について学びます。財務的買手（フィナンシャル・バイヤー）であるプライベート・エクイティと、一般企業などの戦略的買手（ストラテジック・バイヤー）の相違点を理解することは、入札など競争状況の中でM&A取引を成功に導くための必須条件です。

休講

Session 1　プライベート・エクイティ投資の概要
90分

1. プライベート・エクイティ投資とは
2. 主なサブ戦略とリターンの源泉
3. ベンチャーキャピタル投資
4. グロースキャピタル投資
5. ディストレス投資
6. プライベート・クレジット投資

Session 2　投資活動とバリューアップ
90分

1. 投資活動の流れ
2. 投資案件の発掘とデューディリジェンス
3. 資金調達のアレンジとバイアウトにおける資金調達
4. 投資決定と投資先企業のバリューアップ

補足講義 1　プライベート・エクイティ・ファンドへの投資

1. 投資残高の推移についての考え方
2. アセットクラスとしてのPE投資の特徴
3. 投資における４つの原則
4. フォーマンスとマネージャー間における格差

補足講義 2　プライベート・エクイティ投資のアプローチと市場見通し

1. プライマリー／セカンダリー投資戦略
2. 共同投資
3. 投資活動の現状とエグジットの状況
4. 地域別、戦略別、それぞれの投資テーマと見通し

M&A ファイナンス

オリジナル ケーススタディ

グローバル化が進展する中、M&Aのための資金調達手法はさまざまな拡がりをみせています。本講義では、種々の選択肢のメリット・デメリットについて論じ、つなぎ融資としてのブリッジローンと、LBO・MBO案件の資金調達に多用されるノンリコース・ローンの仕組みについて、豊富な資料をもとに、その最先端を紹介します。

6/20(木) 13:00～17:00 (4時間)

講師 小泉 泰郎
株式会社FiNC Technologies 代表取締役 CEO & CFO
元 ゴールドマン・サックス証券株式会社 投資銀行部門
資本市場本部共同本部長 兼 マネージング・ディレクター

受講料 32,000円(税込)

Session 1 M&Aファイナンス

90分

1. M&Aのための資金調達と選択肢の考慮点
- 自己資金／コーポレートローン／ノンリコース・ローン／社債／転換社債／増資

2. ブリッジローンの仕組み ── なぜつなぎ融資が必要なのか
- ブリッジローンの諸条件

Session 2 レバレッジド・ファイナンスの実務

150分

1. レバレッジド・ファイナンスの仕組みと理論

2. レバレッジド・ファイナンスの性質
(買収ファイナンス、キャッシュフローレンディング、ノンリコースファイナンス、ハイレバレッジ)

3. レバレッジ効果とメリット(買収者の視点、負債提供者の視点、市場参加者、売り手・買い手、金融機関)

4. M&A／レバレッジド・ファイナンス市場
- Pro Rataポーション(レボルバー&タームローンA)
- レバレッジド・ローン
- ハイイールド債
- 第一順位担保権付レバレッジド・ローン
- 第二順位担保権付(Second Lien)ローン
- コベナント・ライト型ローン、他

5. 案件プロセス ── 5つの工程
- Phase I 初期検討：ディール・ストラクチャリング／キャピタリゼーション／インディケーション提示
- Phase II 案件分析：事業分析／CFモデル分析／DD／与信判断／コミットメントレター
- Phase III ドキュメンテーション：タームシート(融資基本条件)／ローン契約／担保契約
- Phase IV シンジケーション：参加銀行招聘／参加表明期限／アロケーション決定
- Phase V クロージング：先行条件充足／担保取得／融資実行

6. ストラクチャリング ── どのようなキャピタル・ストラクチャーが可能か?
- 調達構造 ── シニアローン、メザニン、エクイティの関係
- 融資条件 ── トランチング／フィー／担保と保証
- キャピタル・ストラクチャー策定 ── デット・キャパシティの決定要因とエクイティ出資額
- 買収マルチプルの推移 ── 足下の動向
- 財務制限条項 ── レバレッジ・レシオ／カバレッジ・レシオ／最低自己資本／設備投資制限
- その他の誓約事項 ── Affirmative Covenants ／ Negative Covenants、etc

7. 演習：東芝セラミックスのMBO(ストラクチャリング／メリットとデメリット／実施における留意事項)

8. MBO(マネジメント・バイアウト)
- 想定されるストラクチャー ── 公開買付の準備から再上場まで
- メリットとデメリット
- ストラクチャーに関する検討例 ── 通常のケースと、メザニンを活用したケース
- 実施における留意事項

9. MBOケーススタディ(ユーエスジェイ、ベルシステム24、吉本興業、レックス・ホールディングズ、サイバードホールディングス、すかいらーく、ポッカコーポレーション、ワールド、サンスター)

不動産投資の考え方と実務

オリジナル ケーススタディ

不動産投資ファンドがどのような投資活動を行っているのか、その投資対象や投資基準、キャッシュフロー分析の手順などについて学習します。また、日本にも定着したREIT(不動産投資法人)についてもわかりやすく解説し、一般的にリスクが高い投資対象とのイメージがある不動産投資を正しく理解することを目的としています。

6/25(火) 13:00～17:00 (4時間)

講師 黒田 利也
元 オークツリージャパン合同会社 日本代表 マネージング・ディレクター

受講料 32,000円(税込)

Session 1 不動産投資と不動産サイクル

60分

1. 不動産投資の基礎
- なぜ不動産投資? ── 3つのメリット
- 不動産投資の仕組み
- 不動産投資の変遷 ── 投機から投資へ
- 不動産投資のリスク ── リスク項目とリスク要因
- 物件タイプ別の特性とリスク
- 日本の不動産市場の2極化 ── 6大都市と地方都市

2. 不動産マーケットのサイクル
- 4つのフェーズ
- 不動産マーケットの循環
- 18年サイクル
- 日本の不動産市場はピーク?

3. 不動産投資ファンド
- プライベート・エクイティ不動産投資とは
- 投資スタイル ── 4つの投資戦略とその特性
- 投資対象別リスクとリターン
- 投資対象物件と対象地域
- 投資のタイミング
- 日本および世界の不動産投資プレーヤー

Session 2 不動産投資の実務

120分

1. 投資判断 ── 3つのステップ
- 投資対象物件とマーケットに関する情報の収集と分析
- 投資のキャッシュ・フロー分析(IRRとMOIC)
- センシティビティ分析

2. ステップ1：物件価値 ── 不動産価値の査定
- NOIと売買価格 ── 投資物件は適正価格、若しくはそれ以下で買う
- キャップ・レートって何? ── キャップ・レートが下がるほど物件価値は加速度的に上がる
- 物件タイプ別キャップ・レートと相対的リスク ── 物件タイプ別のリスク要因と6大都市圏のキャップ・レート
- 地域別キャップ・レートと相対的リスク ── 地域別のリスク要因とキャップ・レート
- キャップ・レート計算演習
- 適正価格の査定(プライシング)
- Mark to Market と Pro Forma NOI
- Operating Statement
- レントロール
- 競合物件比較
- 賃料収入(Mark to Market)と運営経費(Operating Expenses)
- マーケット情報の見方
- 物件価値

3. ステップ2：投資の利回り分析I：キャッシュ・フロー分析
- 投資機関のキャッシュ・フロー
- 出口戦略
- キャッシュ・フロー予測
- IRR(内部収益率)って何?
- IRRの予測の仕方
- MOIC
- Cash-on-Cash Return
- NPV(Net Present Value)

4. ステップ3：投資の利回り分析II：センシティビティ分析
- リスクの許容度を確認
- 投資判断演習問題 ── どの物件に投資しますか?
- デット(借入れ)の活用 ── 利回りを上げる
- ノンリコース・ローン ── メリットとリスク

Session 3 J-REIT(不動産投資信託)

60分

1. REITとは
- REITの仕組み
- REITの種類
- 上場REITと私募REIT
- REITの日米比較

2. REITの買い方
- 収益力：分配金利回りとFFO(Funds from Operations)
- 適正価格：NAV倍率
- 資産の評価：インプライド・キャップ・レート
- インプライド・キャップ・レートとポートフォリオNOIの利回りと比較する
- 市場の評価
- 流動性：出来高推移と浮動投資口比率
- マーケット情報の見方

3. スポンサーと利益相反のリスク

エクイティ・ファイナンス

オリジナル ケーススタディ

エクイティ・オファリングを実施する際に考慮すべき市場の特性・投資家層について学び、発行ストラクチャーの選定、マーケティング戦略及びそれに伴うドキュメンテーション・プロセスの一連の流れを詳説します。

6/12（水）　10:00～13:00（3時間）

講師　早川 亮
元 ドイツ証券株式会社　株式資本市場部　ディレクター

受講料　27,000円（税込）※同日午後の"IPO"を受講の方は、合わせて48,000円

Session 1　エクイティ・オファリングの発行市場

45分

1. 日本株式の市場取引実態
2. 投資家層について
3. 公募増資の発行市場（国内、海外、メリット・デメリット等）
4. オファリング・ストラクチャーの選択肢
5. 投資家層及び投資家ターゲティング
6. 発行スケジュール

Session 2　エクイティ・ファイナンスに関わるドキュメンテーション・プロセス

45分

1. 公募増資発行プロセス及びスケジュール
2. 公募増資における関係者及び役割
3. 目論見書作成、引受契約書等必要書類
4. デューディリジェンス、引受審査プロセス
5. オーバーアロットメント（グリーン・シュー・オプション）の概念
6. 転換社債発行における関係者及び役割、発行日程
7. 転換社債発行スケジュール

Session 3　エクイティ・ファイナンスにおけるマーケティング・プロセス

90分

1. 公募増資におけるマーケティング・プロセス
2. エクイティ・ストーリーの構築とその重要性
3. 企業によるインベスター・リレーションズ（IR）活動の重要性
4. 経営陣によるロードショーの実施
5. 株式セールスによる販売活動及びリサーチ・アナリストの重要性
6. 価格ディスカウント・レンジ
7. ブックビルディング（需要積上げ）、プライシング（発行価格決定）及び投資家への配分
8. ケーススタディ（JAL、ANA、エルピーダ、マツダ、ヤマダ電機、SBIホールディングス、KDDI、ラウンドワン、出光等）

新規株式公開【IPO】

オリジナル ケーススタディ

IPOの意義及びメリット・デメリット、IPO市場の現状、資本政策、上場申請の概要及び公開価格の決定がされるまでのプロセスについて説明します。特に、公開する企業にとって最も重要である公開価格決定及び上場後の株価形成に影響を与える重要な要素を、実務的ケーススタディを通じて解説します。

6/12（水）　14:00～17:00（3時間）

講師　早川 亮
元 ドイツ証券株式会社　株式資本市場部　ディレクター

受講料　27,000円（税込）
※同日午前の"エクイティ・ファイナンス"を受講の方は、合わせて48,000円

Session 1　新規株式公開の概要

60分

1. IPOの意義、公開価格の重要性、メリット・デメリット
2. 上場市場（プライム、スタンダード、グロース）の特徴及び上場基準
3. オファリング・ストラクチャー、公開価格の重要性
4. 資本政策、演習問題
5. 上場までのスケジュール、公開準備プロジェクト・チームの役割
6. 上場審査手続き、上場申請のスケジューリング
7. プレ・ディール・リサーチについて

Session 2　価値算定・公開価格決定

75分

1. 公開企業の企業価値のコンセプト
2. DCFモデルによる価値算定
3. 類似企業との比較によるバリュエーション
4. 想定公開価格、仮条件（価格レンジ）、公開価格決定までの流れ
5. エクイティ・ストーリーの構築、経営陣によるロードショーの実施、株式セールスによる販売活動
6. ブックビルディング価格レンジ、公開価格の決定、アフターマーケット
7. ケーススタディ

Session 3　オファリング・ケーススタディ

45分

1. IPOのオファリング概要、オファリング・ストラクチャー、オファリング日程
2. 類似会社、バリュエーション比較
3. 投資家へのプレ・マーケティングの実施、フィードバックの活用
4. 価格レンジの決定、ブックビルディングの実施方法、公開価格決定及び投資家への配分について
5. アフターマーケットの分析

ベンチャーファイナンス

オリジナル ケーススタディ

ベンチャー企業躍進の必要性が叫ばれて久しく、日本でもシリコンバレーに追随できるだけの環境が整いつつあります。本講座は資金調達の実践者であるベンチャー企業のCFOから、その基本的な考え方、コーポレートファイナンスとの違い、企業価値の算出方法から、参加投資家の顔ぶれ、具体的な株式発行、ストックオプションの留意点、またEXITとしてのIPO、M&Aなどまで、幅広くかつ最新のケーススタディと合わせ紹介していきます。

6/26（水）
13:00～17:00（4時間）

講師　小泉 泰郎
株式会社FiNC Technologies 代表取締役 CEO & CFO
元 ゴールドマン・サックス証券株式会社　投資銀行部門
資本市場本部共同本部長　兼　マネージング・ディレクター

受講料　32,000円（税込）

Session 1　ベンチャーファイナンスに関する基礎知識

60分

1. ベンチャーファイナンスとコーポレートファイナンスの違い
   - 財務戦略の重要性 —— 財務戦略を強化すると…
   - 組織戦略 —— フェーズ毎の取締役の役割
   - 市場戦略 —— ステージ毎のマーケティング戦略
2. 企業価値算定手法
   - インカムアプローチ —— DCF法、収益還元法、配当還元法
   - マーケットアプローチ —— マルチプル法、市場株価法、類似取引比準法
   - コストアプローチ —— 時価純資産法、簿価純資産法、清算価値法

Session 2　ベンチャー企業特有の価値評価と資金調達におけるプレーヤー

90分

1. ベンチャー企業特有の価値評価
   - Forward PER、PE to Growth
   - PSR、特殊なメトリクス
   - VCメソッド —— 上場時の想定価格・必要なリターンを逆算する
   - ベンチャーキャピタルメソッド
   - 各ステージの割引率 —— シード、シリーズA、ミドル・レイター
   - 事業の健全性を表す重要なUnit Economics —— バーンレート、MRR、チャーンレート、ライフタイムバリュー、CAC
   - ベンチャー投資の黄金律 —— 健全なUnit Economicsの指標
   - Valuation Reference —— 実践編
2. 資金調達におけるプレーヤーの種類
   - 家族、クラウドファンディング、エンジェル投資家、インキュベーター、ベンチャーキャピタル、日本郵政キャピタル
   - コーポレートベンチャーと戦略的提携先
3. 企業発展段階とラウンド戦略
   - ラウンド毎の株主構成推移 —— CEO、共同ファウンダー、オプションプール、投資家、取締役
   - シードラウンド、シリーズA、シリーズB、ファイナルラウンド
   - 投資家の関心 —— 投資家が関心を持つ9つのポイント

Session 3　資金調達プロセスの実際

90分

1. 株式の種類
   - 普通株式、優先株式、種類株式、転換社債、ストックオプション —— メリットと注意点
2. 希薄化の考え方
3. EXIT戦略
   - IPO（新規上場）
   - M&A（戦略的提携、売却）

受講申し込み手順

お申し込みは **Web**から

インベストメントバンキング講座　検索

https://www.nikkeimm.co.jp/wasedafmib/

上記、日経メディアマーケティング株式会社のWebサイトから、お申し込みください。

▶ **お申し込み受付完了後、事務局より確認のメールをお送りいたします。**
（お申し込み後、一営業日が過ぎても事務局からメール返信がない場合は、お手数ですが、事務局までご連絡ください。）

▶ **別途送付する請求書に記載のお支払い期日までに、指定の口座に受講料をお振り込みください。**
（振込手数料はご負担ください。）

対面受講ご選択の場合

ご受講までの流れ

- ●お申し込み受付完了後、「受講票」をお送りいたします。
- ●「受講票」は当日お忘れなくお持ちください。
- ※受講料のご入金状況によっては、受講票をお持ちいただいても受講できない場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ●テキストは当日会場でのお渡しになります。

ご注意事項

- ●受講のお申し込み受付は先着順です。定員に達した時点で締め切らせていただきます。
- ●講座の応募状況により、受講定員を変更させていただく場合がございます。

その他、新型コロナ感染防止対策について

- ●早稲田大学構内においては、政府の指針に従い、マスクの着用を求めないことを基本とします。
- ●新型コロナウイルス感染症の検査で陽性となっている方や症状のある方、同居する家族に陽性者がいる方は、周囲の方に感染を広げないために、対面での受講は控えてください。

オンライン受講ご選択の場合

ご受講までの流れ

- ●受講料のお振り込みを確認後、開講4～5日前に製本済みのテキストをご指定の住所宛に発送します。
- ●Zoomは主催側の回線を使いますので、インターネット環境があれば、どなたでもご受講可能です。
- ●開講3～4日前にID／パスコードをメールにてお知らせします。
- ●当日、Zoomミーティング用ID／パスコードをクリックしてご受講ください。

ご注意事項

- ●受講にはパソコンもしくはタブレット（カメラ付）とインターネット環境が必要です。
- ●スマートフォンは画面が小さいため不向きです。
- ●カメラを必ずONにしてご受講ください（OFFでの受講は不可）。
- ●テキスト一斉発送後にお申し込みをいただいた方へのテキストの発送は講義終了後になりますことを、あらかじめご了承ください。
- ●受講者側において通信トラブルがありましても、講義はそのまま進めますので、緊急連絡先までご連絡ください。

対面、オンライン共通のご注意事項

- ●撮影・録音・録画等は禁止です。
- ●テキストの一部あるいは全部についてコピー、転載等の二次的使用は禁止です。
- ●都合により、講師および講義内容を変更する場合がございます。
- ●受講生が一定人数に満たない場合、講座を中止することがございます。中止決定は講義日の7日～10日前に行います。中止の際には受講料を全額、返金いたします。また、講師の緊急の都合などにより、中止、延期、時間短縮などさせていただくことがございますので、予めご了承ください。

開講前のキャンセルの取り扱いについて

- ●講座開始日7日前以降のキャンセルに伴う返金はいたしかねますので、予めご了承ください。
- ●キャンセルのご連絡は電子メール、もしくは、Webサイトの「お問合せフォーム」にてお願いいたします。
- ※**申し込み受付完了後は、いかなる場合も、受講料の振込のないことをもってキャンセルとはみなされません。キャンセルの際は、必ず事務局までご連絡くださいますようお願いいたします。**

お問い合わせ、資料請求は、こちらまで

日経メディアマーケティング（株）
早稲田大学FM＆IB講座事務局
〒103-0027 東京都中央区日本橋3-9-1 日本橋三丁目スクエア7階
Tel: 03-4232-7463
Email: wasedafmib@nikkeimm.co.jp

お問合せ受付時間：月～金 10:00～17:00（土・日・祝日休）
※年末年始の営業日につきましてはWebサイトをご覧ください。

共催について　本講座は早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センターと日経メディアマーケティング株式会社の共催です。

対面受講会場

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町516
早稲田大学26号館（大隈記念タワー）

アクセス
- ● **東京メトロ 東西線 早稲田駅3a出口より徒歩5分**
- ● **都電荒川線 早稲田駅 徒歩5分**
- ● **都バス 高田馬場駅前から「学02早大正門行」早大正門バス停下車 徒歩0分**

⚠ 個人情報の取り扱いについて　資料請求」や「アンケート」の記入時、講座のお申し込み時等にお預かりした個人情報につきましては、受講案内やガイダンス等の開催案内に使用いたします。お預かりしました個人情報を、お客様の同意なしに業務委託契約締結先以外の第三者に開示・提供することはございません（但し、法令等により開示を求められた場合を除く）。お客様の個人情報は、早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センターおよび日経メディアマーケティング株式会社にて管理させていただきます。